

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人県央福祉会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市立身体障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の身体障害者及びその介護を行う者に対し、通所による機能訓練、創作的活動、介護方法の指導等の各種のサービスを提供することによって、身体障害者の自立と社会参加を促進し、もって、身体障害者の福祉の増進に寄与する。（条例第2条） ※ 障害福祉サービス事業（生活介護）を実施。
施設概要	開館時間：午前8時30分から午後5時まで 休館日：日曜日、祝祭日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 年間開所日数：292人 延床面積：721.44m ² 主な施設：食堂、作業・日常訓練室、休憩室、健康管理室・相談室、浴室（一般、機械）、脱衣室、トイレ、厨房、事務室、湯沸室、倉庫、機械室
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	5,649	5,209	5,584	5,639	5,027
自立支援給付費（円）	115,994,377	108,948,564	112,618,658	114,846,940	107,126,240
利用者負担金（円）	101,177	95,040	99,173	208,719	226,854
収入総額（円）	121,291,538	113,390,631	117,588,958	120,668,340	116,359,332
支出総額（円）	110,736,784	107,696,359	111,262,224	120,702,759	111,585,500

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 16
	S	A	A	S	B		

指標1						
指標名（単位）	開所日1日当たりの平均通所者数 単位：人					
指標式と指標の説明	施設を利用し、機能訓練、創作活動等のサービスの提供を受けることにより、身体障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数（年間通所者数÷開所日数）を成果指標とする。					

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
実績値（人）	19.3	17.8	19.1	19.3	17.3
達成度（%）	110.3%	101.7%	109.1%	110.3%	98.9%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点（20点満点）	評価点
	S	S	S	S	S	20	20

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
生活介護の業務	○通所される利用者への日常生活上への活動支援 ・利用者の平均障害支援区分は、5.4 ・医療的ケア対応のため、看護師を常時2~3名配置 ○外出プログラム ・希望者に対し、施設近隣への買い物、ホームセンターへの買い物など外出機会の確保。 ○季節に合わせたプログラムの実施 感染予防対策を施したうえで、夏祭りやクリスマス会等を実施。創作活動や散歩など通常日課の範囲内・規模で実施。各曜日で月に1回程度。	看護師を常時2~3名配置することで、様々な障害があつても地域で生活する方の日中活動のサポートを行えました。
入浴サービス	開所日に、入浴希望の利用者へのサービス提供。	重心の方からご自身で入浴が可能な方など様々な障がいのある方への入浴実施により、ご家族のレスパイトケアや清潔保持を行えました。
食事の提供	嚥下障がいなどの自力での食事が困難な利用者への支援。 個々の特性に応じた特別食の提供。	利用者個々に合わせた食事形態にすることで自宅では経口摂取が困難な方も食事提供が行えています
送迎サービス	行きと帰りのご自宅まで送迎サービスの実施。	喀痰吸引など医療行為が必要な方の送迎には看護師が添乗し、他事業所で断られた方の受け入れを行えました。

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
なし		

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
なし		

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 11
	B	B	A	B	B		

利用者満足度調査

調査手法	施設の利用者を対象とした満足度調査
目標値の基準	6段階評価のうち、有効回答数中で「とても満足」「満足」「やや満足」と回答した人の割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	92.3	92.9	93.5	94.1	94.7
実績値（%）	92.2	92.8	94.9	90.2	92.0
達成度（%）	99.9%	99.9%	101.5%	95.9%	97.1%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
福祉オンブズマンの来訪	月に一回、相模原福祉オンブズマンが来所し、希望する利用者と一人ずつ面談を行う。福祉オンブズマンは、利用者から聞いた意見を施設側に伝え、施設側は利用者の意見を支援等に反映している。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
外出がしたい	コロナ禍で中止にしていた散歩や近買物を順次再開しています。外出プログラム再開希望の声が多く聞かれているため、令和6年度再開予定で計画しています。
身体を動かしたい	月間予定にアクティビティ一週を設け、ラジオ体操やトランസフィットネスなどの身体を動かすプログラムを取り入れています。
室内イベントをやりたい	コロナ禍で様々なイベントを中止としていましたが、クリスマス会や夏祭り、お菓子や雑貨の訪問販売などを週単位で実施しています。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 18
	S	S	S	B	S		

施設の収支概要		(千円)				
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		121,292	113,391	117,589	120,668	116,359
自立支援給付費		92,478	89,053	94,679	96,868	87,189
利用者負担金		101	95	99	209	227
その他の収入		28,713	24,243	22,811	23,591	28,943
支出 (b)		110,736	107,696	111,262	120,703	111,586
人件費		73,107	70,869	73,939	82,569	73,176
本社管理経費		4,709	5,148	4,434	3,288	3,882
その他の支出		32,920	31,679	32,889	34,846	34,528
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		10,556	5,695	6,327	-35	4,773
自主事業収入 (d)						
自主事業支出 (e)						
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		0	0	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】		10,556	5,695	6,327	-35	4,773
備考						

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	改善済	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無	無	無	無
主な加点内容					

8 指定管理者の自己評価

相模原市の指定管理事業として、市民へ福祉サービスを提供し、共生社会の実現に努めてきました。障がいを持つ方が生活しやすい環境を実現するために必要なサービスを考え、地域生活の基盤となるよう、入浴サービスの実施、創作的活動への取り組み、近隣への買い物など感染症に留意しながら行いました。また、令和5年度からは、積極的な実習生の受け入れを行い福祉理解の推進をはじめ、地域住民とのつながりを大切にするため、ボランティアセンターと連絡を取り合いながら日中活動に活躍してくださるボランティアを募り、利用者さんとの交流を深めることができました。今後も地域で生活をする意味を大切にしサービスの向上を目指していきます。

9 所管課意見

- ・市内における身体障害者を対象とした生活介護事業所が少ない中、当該施設が担う役割を認識し、障害支援区分の高い方を積極的に受け入れている点について評価する。
- ・職員体制については、看護師等の有資格者を国の基準を超えて配置しているほか、勉強会や研修への参加など、職員の人才培养や支援体制の充実に努めている点も評価できる。
- ・引き続き、利用者のニーズに応えられるよう、満足度調査等を参考に事業の検討を行っていただきたい。

10 選考委員会意見

- ・コロナ禍でも成果指標の達成度が高かった点は評価できる。
- ・中止していたイベントや活動も再開しており、今後も利用者さんの満足度が高まるような活動・支援の提供を期待する。
- ・医療的ケアが必要な方への通所施設として、今後も地域と連携を図りながら地域と開かれた事業所としての役割遂行を期待する。
- ・令和3年度に比較して、その後の年度は、利用者の満足度、施設の経営状況は悪化している。安定した経営も確保するためにも、これまで以上に利用者の満足度を高め、利用料金収入の増加を図るとともに、支出項目の見直し等による経費の節減により、より一層効率的な経営を目指していただきたい。
- ・障害者支援区分の高い方を積極的に受け入れ、入浴サービスや創作的活動のほか、コロナ以降は少しずつ利用者が楽しめるようイベント等も再開するなど工夫している点は評価している。
- ・今後も利用者の方が地域と交流する機会を設けてほしい。

総合評価（自動判定）

